

防災委員会 News

令和4年 1月 22日
小平第十小学校 P T A
会 長 大津 佳子
防 災 委 員 会

日頃より皆様にはPTA活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。
今年度、防災委員会ではコロナ禍という状況の中でどのような活動がふさわしいかを考えてきました。
お家で過ごすことが増えた今、「**おうちでぼうさい**」をテーマにご家庭で防災についてじっくり考えて
いただける「防災委員会News」の配布を行うことにしました。
今日は防災を考える日です。ぜひこの機会に、ご家庭で防災について話し合ってみてください。

防災委員会の目的・活動内容

- ①防災連絡会のメンバーとしての活動
 - ・防災連絡会への出席、諸活動への参加
- ②校内での活動
 - ・防災連絡会の内容を「運営委員会だより」で会員に周知する広報活動
 - ・児童及び会員の防災意識向上のための諸活動



防災委員会の活動の一つに、「**十小校区防災連絡会**」への出席があります。
学校やPTA、地域の方、行政の担当の方が集まり、防災についての話し合いや
訓練などを行っています。参加を通して、多くの方がこの地域の防災について
真剣に考えてくださっていることを知りました。
また、各家庭でできる防災対策を実践することや、避難用具の準備や確認をし、
地震や水害などさまざまな災害に備えていくことが大切だと感じました。

【家庭でできる日常の備えは?】 日常の中で少しずつできる備えがありますのでご紹介します。

- ・持ち出し品の準備
- ・家具類転倒、落下、移動防止策
- ・災害時の待ち合わせ場所の確認
- ・ローリングストックを活用する(★)
- ・避難場所の確認

(★)ローリングストックとは、普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使った分
だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄する方法



【家族構成(個人)に応じて準備するもの・必需品、貴重品類の紹介】

一般的な持ち出し品リストの他に、各家庭によって準備するものが変わります。
いくつかの例をご紹介します。

女性用品



- 生理用品(傷の手当てなどガーゼの代用品としても重宝する)
- ホイッスルライト(防犯も兼ねて)
- 鏡 ●ブラシ ●化粧品 ●おりものシート

高齢者用品



- おむつ
 - 着替え
 - 予備メガネ
 - 看護用品
 - 持病薬
- (おくすり手帳も)

赤ちゃん用品



- 粉ミルク ●哺乳瓶
 - 離乳食 ●スプーン
 - バスタオル ●洗浄綿
 - ガーゼ ●紙おむつ
 - 母子手帳 ●玩具 ●着替え
 - ベビーカー
- (荷物運搬用としても役立つ)

必需品・貴重品類

- 現金(硬貨多め)
 - 車や家の予備鍵
 - 予備メガネ、コンタクト
レンズ等(水不足で洗眼も
不便な為)
 - 貯金通帳
 - 健康保険証
 - 運転免許証
 - パスポート、在留カード
 - 印鑑 ●証書類
 - 住民票
- ※コピーや番号の控えなどの
工夫も可。身分証にもなる



配布物について

今年度、防災委員会では、「**自助(自分の身の安全を守る)**」「**生命維持(生き残るために必要なもの)**」「**コロナ禍で見直す備蓄品**」の3点に着目して活動費の用途を考え、以下2点についての配布を行うことにしました。

■えいようかん

軽量でコンパクトなので日常使う鞆に備蓄したり、災害を想定して実際に食べてみるなどご活用ください。

- ・ 5年の長期保存が可能です。
- ・ 1本食べるだけで手軽に171 kcal(ご飯一杯分)のエネルギー補給が可能です。
- ・ 適度に柔らかく、すっきりした甘さで水がなくてもそのまま食べることができます。
- ・ アレルギー物質(特定原材料など)を含む原材料は使用していません。



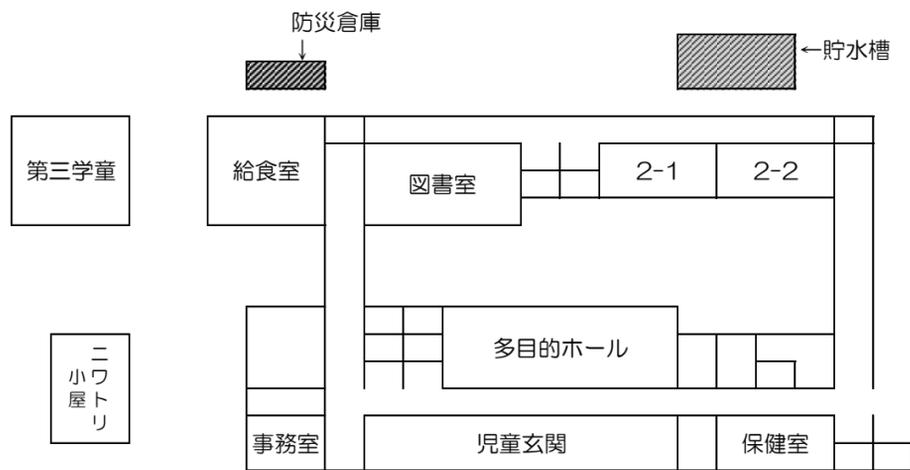
■飲料水

今回配布した飲料水は長期保存水ではありませんが、通常ミネラルウォーターをローリングストックとして備蓄するのも一つの方法です。

500mlの飲料水を数本準備することで共有をさけたり、コップの代わりとしても活用できます。

十小防災倉庫の紹介

十小の防災倉庫がどこにあるか、ご存知でしたか？ 私たち防災委員も存在を知らなかったため、今回初めて防災倉庫について取材をさせていただきました。



防災倉庫は、給食室の裏側にあります。入っている物は、主に災害時に避難者が過ごす設備を設営する機材や、ライフラインに関わる機材です。尚、食品類は入っていません。

災害時に地域もしくは学校の防災担当者が倉庫を開けることになっています。(保護者が直接利用することはないそうです)

防災倉庫外観



倉庫の扉を開けた様子



発電機



トイレ設営用ポンプ：体育館前のマンホールと接続します



貯水槽



貯水槽は2年2組の教室の裏側あたりに配置されています。災害時に飲料水として使用されます(手前に非常用の蛇口あり)。中の水は循環させるために、普段は児童の水道水として使用されているそうです。

おさない



はしらない



しゃべらない



もどらない



避難の時の合言葉
「お・は・し・も」

コロナ禍の防災



参考：2020.7.20 市報こだいら

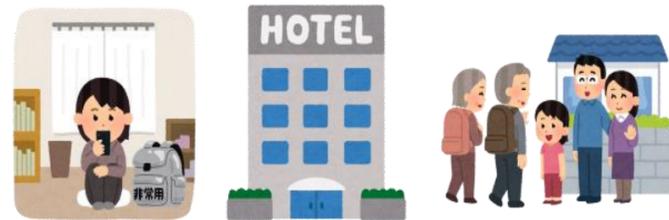
現在、新型コロナウイルス感染症の流行が続き、3密（密集・密閉・密接）を避けるなど生活のかたちが変わってきました。こうした状況が続く中、災害が起こる事態にも備えていかなければなりません。

避難所では、感染症防止対策を講じると収容人数が想定より減少してしまい、多くの人が避難しても全ての方を受け入れることができない可能性があります。

避難とは、難を避けることです。災害が発生した場合、安全な場所にいる方は無理に避難所に避難せず、在宅避難や分散避難も検討しましょう。

在宅避難 ⇨災害発生後自宅の安全が確認できた場合は、自宅での在宅避難ができます。自宅は人との接触を最小限に抑えられ、感染対策になります。また安心できる場所のためストレスの少ない避難先になります。

在宅避難で大切なことは、自宅を「自分や家族の身の安全を守る場所」にすることです。今からできる準備は家の片づけや、家具などの転倒防止対策です。飲料・食料・生活用品の他、カセットコンロ・懐中電灯・充電式ラジオ・通信機器用バッテリー・簡易式トイレなどがあると役立ちます。



分散避難 ⇨親戚や友人・知人宅など避難所以外の安全な場所に避難することも検討しておくとう安心です。

ライフライン関係の問い合わせ先

引用：十小避難所管理運営マニュアル

ライフライン会社		電話番号
電気	東京電力 多摩カスタマーセンター	☎0120-995-662
ガス	東京ガス お客様センター	☎0570-002211
水道	東京都水道局 多摩お客様センター	☎0570-091101
電話	NTT東日本	☎116

災害時に備えて、日頃から電気、ガス、水道など特にライフラインに関わる情報を確認しましょう！普段から水のくみ置きなど、断水に備えていると生活用水に活用できます。

避難所について ⇨避難所に避難する場合や、在宅避難者が物資の提供を受ける場合、「**避難者カード**」

「**【受付時用】健康確認チェックシート**」を総合受付へ提出します。受付にも用意していますが、数に限りがあり、また、密を避けるためにも、あらかじめ記入しておき、避難の際に持参しましょう。

（様式は小平市トップページ→避難所管理運営マニュアルで検索→避難所管理運営マニュアル作成の指針（新型コロナウイルス編）にあります。また、十小校区防災連絡会から配布される様式でも可能です。）

避難の際には、マスクを着用し、災害用備蓄品（水・食料・医薬品等）に加え、体温計・マスク（予備）・消毒液・ゴミ袋・スリッパ・衛生用品等を持参しましょう。

避難所の運営・管理に関することは**小平市立小平第十小学校避難所管理運営マニュアル**で確認できます。

（小平市ホームページに掲載）



避難所設置情報は防災無線、広報車、小平市ホームページ、防災・防犯緊急メールマガジン、小平市公式ツイッターなどで確認することができます。

防災・防犯緊急メールマガジンは以下のページから登録できます。
(<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/070/070092.html>)

※携帯電話の方は右記のQRコードから登録できます。⇨



①小平市ホームページ

大規模災害時には、小平市ホームページを災害時緊急ホームページに切り替え、市が収集した災害に関する情報を、迅速かつ正確に提供します。



②小平市公式ツイッター

小平市ホームページやメールマガジンに防災・防犯緊急情報として掲載した記事や、市民の健康や生活に影響を与える可能性がある情報を中心に配信しています。



③防災行政無線

地震、集中豪雨、ミサイルの着弾などの災害や危機事象が発生した際に、速やかに避難のお知らせや情報を放送します。



災害時、小平市から提供される各種情報

④メールマガジン こだいらニュース

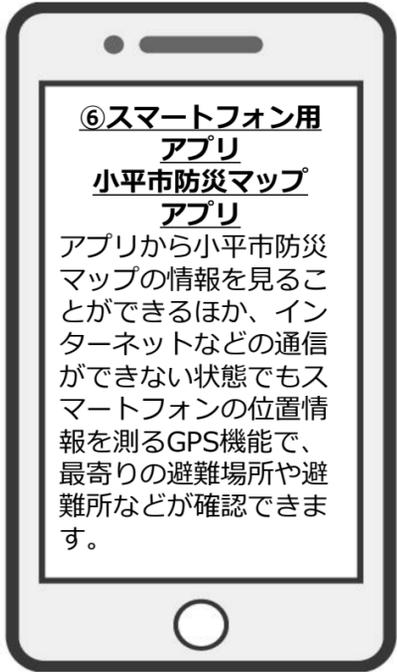
メールマガジンのこだいらニュースでは、防災・防犯緊急情報を配信しています。

災害時の防災緊急情報の内容

- ▷被災状況
- ▷避難所・避難場所情報
- ▷医療情報
- ▷防災行政無線の放送内容
- ▷地震・気象・そのほかライフライン情報など

⑤小平市防災マップ

自宅の最寄りのいっとき避難所や給水拠点の場所、浸水予想区域図がわかる地図と、日頃の備えや災害時の心得、家族の安否確認方法などの防災情報を掲載しています。



⑥スマートフォン用アプリ
小平市防災マップアプリ

アプリから小平市防災マップの情報を確認できるほか、インターネットなどの通信ができない状態でもスマートフォンの位置情報を測るGPS機能で、最寄りの避難場所や避難所などが確認できます。

※①～⑥についての詳細やアプリの取得方法などは小平市ホームページに掲載されています。合わせてご覧ください。

https://www.city.kodaira.tokyo.jp/shihou/files/83622/083622/att_0000005.pdf



【編集後記】

「防災委員会News」はいかがでしたでしょうか。東日本大震災や風水害など、近年、災害は私たちの生活の在り方を見直す影響が多くありました。

「備えあれば患いなし」の言葉の通り、普段からの備えを整えておくことの大切さを、この記事をもとめるにあたり実感しています。

「防災委員会News」が皆様に少しでもお役立ていただければ幸いです。

防災委員一同